

第 2 章 近江八幡市の高齢者を取り巻く現状

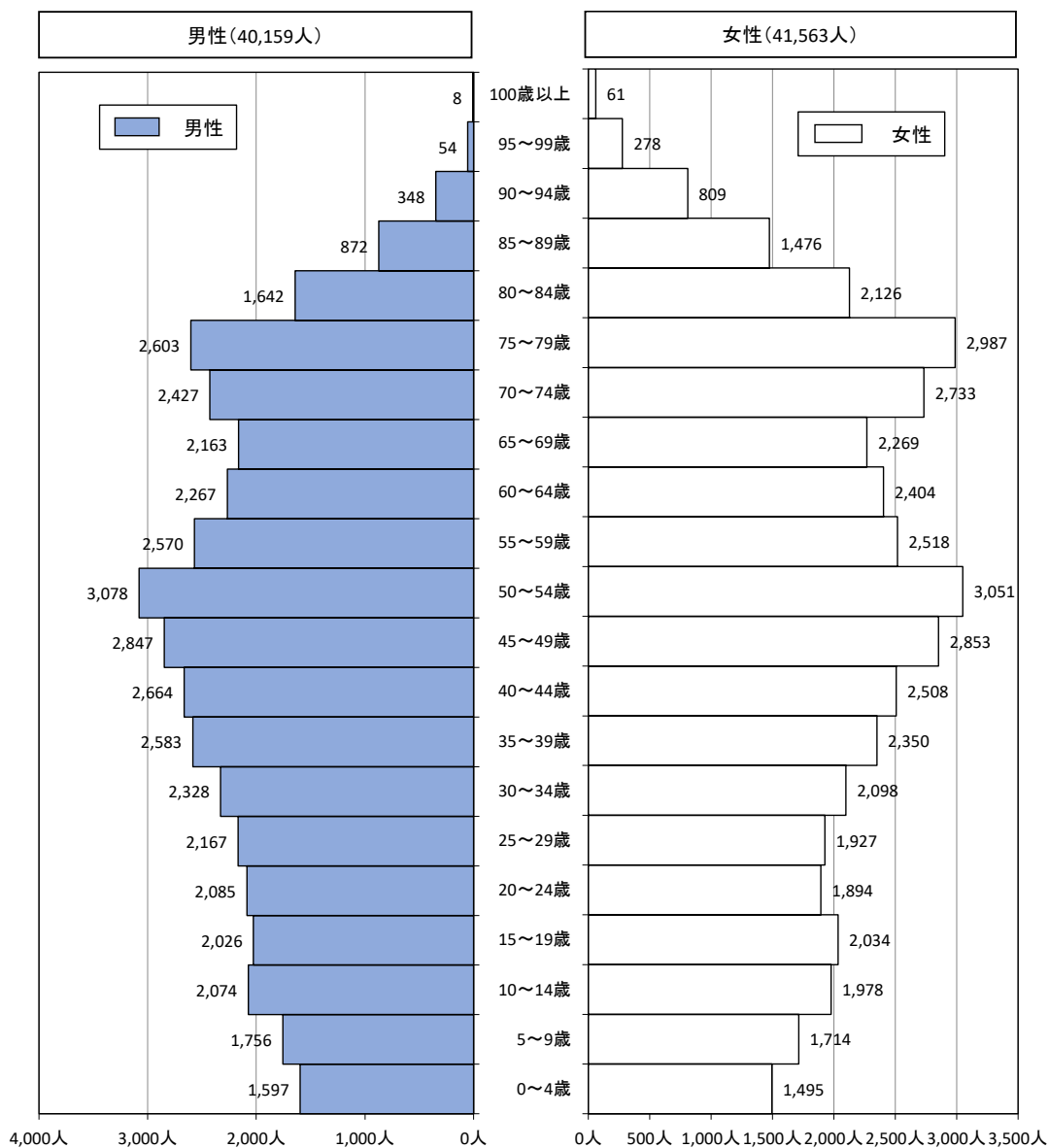
1. 統計データからみる市の状況

1) 人口の状況

①人口構造

近江八幡市の人口は、令和 7 年 10 月 1 日現在で、男性 40,159 人、女性 41,563 人、総人口 81,722 人となっています。年齢 5 歳階級別にみると、男性は 50～54 歳の人口が最も多く、次いで 45～49 歳、40～44 歳が続いています。女性は 50～54 歳の人口が最も多く、次いで 75～79 歳、45～49 歳が続いています。

【近江八幡市の人口ピラミッド】

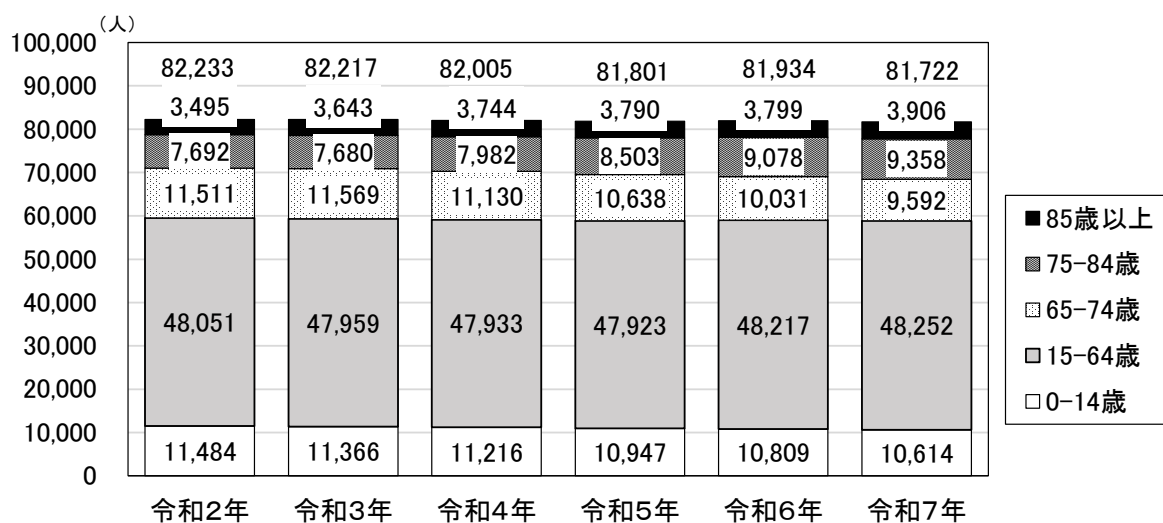


資料：住民基本台帳（令和 7 年 10 月 1 日現在）

②人口の推移

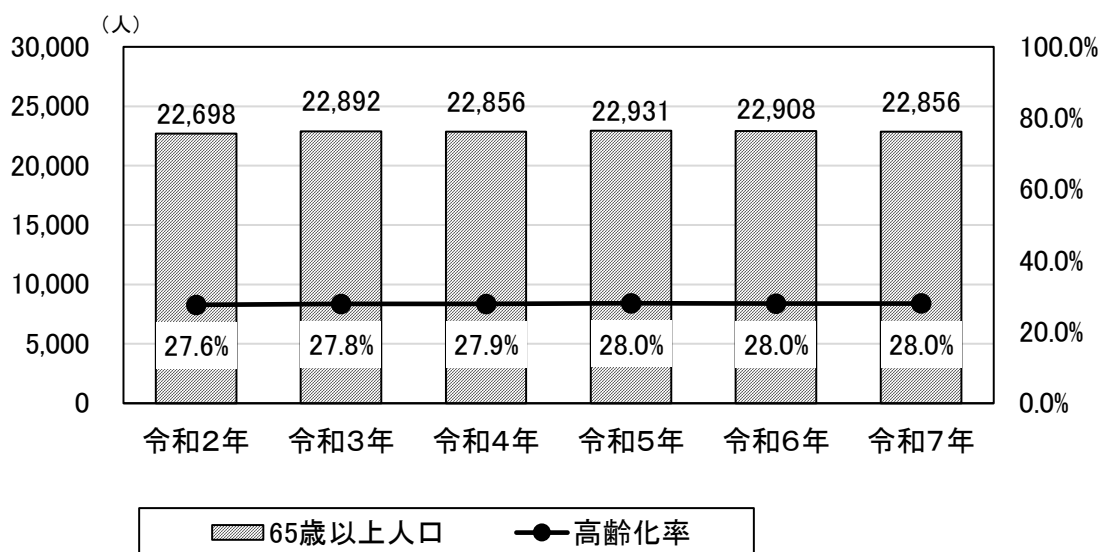
本市の人口は、令和5年以降 81,000 人台で推移しています。年齢区分別に見てみると、0～14 歳の年少人口及び 15～64 歳の生産年齢人口は横ばいとなっています。また、高齢者人口は年による増減はあるものの、高齢化率はほぼ横ばいとなっています。高齢者人口の中でも、65～74 歳人口は4年間で減少しており、75～84 歳、85 歳以上はともに増加しています。

【年齢区分別人口・構成比の推移】



資料：住民基本台帳（各年 10 月 1 日現在）

【高齢者人口と高齢化率の推移】



資料：住民基本台帳（各年 10 月 1 日現在）

学区別に 65 歳以上の高齢者人口の推移を見ると、八幡学区、北里学区、老蘇学区は増加傾向にありますが、それ以外は令和 6 年以降減少に転じた学区が多くなっています。

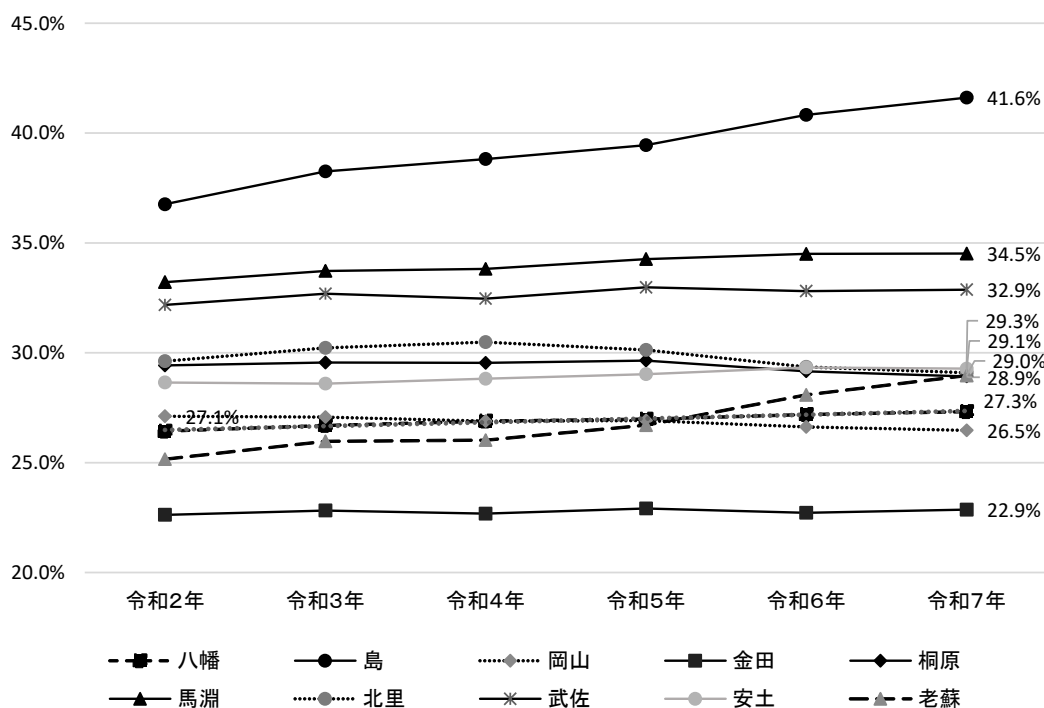
【学区別高齢者数（65 歳以上）の推移】

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
八幡	4,077	4,091	4,080	4,065	4,053	4,070
島	714	730	726	727	733	730
岡山	1,715	1,715	1,714	1,706	1,691	1,665
金田	3,594	3,650	3,649	3,690	3,672	3,669
馬淵	1,084	1,095	1,070	1,066	1,056	1,045
武佐	1,231	1,242	1,240	1,253	1,259	1,257
桐原	5,160	5,199	5,192	5,217	5,182	5,141
北里	1,657	1,678	1,690	1,703	1,712	1,720
安土	2,794	2,804	2,816	2,820	2,834	2,830
老蘇	672	688	679	684	716	729

資料：住民基本台帳（各年 10 月 1 日現在）

学区別の高齢化率では、各学区とも横ばいから増加傾向です。中でも島学区は 40% を超え、馬淵学区、武佐学区では 30% を超えています。

【学区別高齢化率の推移】

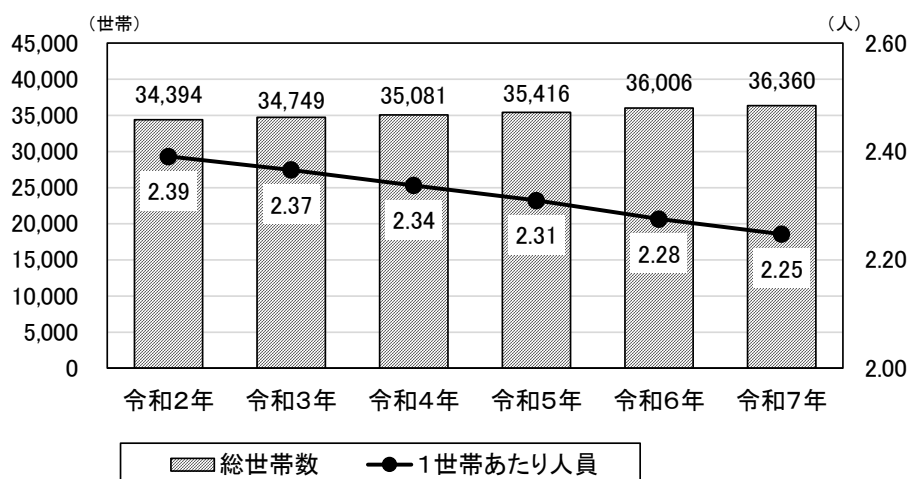


資料：住民基本台帳（各年 10 月 1 日現在）

2) 世帯の状況

本市の世帯数は令和 7 年 10 月 1 日現在で、36,360 世帯で、年々増加している一方、一世帯当たり人員数は減少が続いています。

【世帯数・世帯当たり人員数の推移】



資料：住民基本台帳（各年 10 月 1 日現在）

本市の高齢者世帯数は令和 5 年からやや増加し、令和 7 年 10 月 1 日現在で、総世帯数に占める割合は、43.4%です。高齢者世帯の内訳をみると、令和 7 年 10 月 1 日現在で、高齢者単身世帯は 5,825 世帯となっており、年々増加しています。また、夫婦のみの世帯が 4,495 世帯となっており令和 5 年からやや減少しています。

【高齢者世帯の概況（推移）】

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
総世帯数	34,394	34,749	35,081	35,416	36,006	36,360
高齢者のいる世帯数	15,368	15,509	15,518	15,643	15,730	15,763
総世帯数に対する構成比	44.7%	44.6%	44.2%	44.2%	43.7%	43.4%
高齢者単身世帯	5,002	5,120	5,264	5,460	5,652	5,825
総世帯数に対する構成比	14.5%	15.0%	15.0%	15.4%	15.7%	16.0%
高齢者夫婦世帯	4,332	4,409	4,452	4,505	4,499	4,495
総世帯数に対する構成比	12.6%	12.7%	12.7%	12.7%	12.5%	12.4%
その他世帯	6,034	5,980	5,802	5,678	5,579	5,443
総世帯数に対する構成比	17.5%	17.2%	16.5%	16.0%	15.5%	15.0%

資料：住民基本台帳（各年 10 月 1 日現在）

【高齢者世帯の概況（学区別）】

	全体	八幡	島	岡山	金田	馬淵	武佐	桐原	北里	安土	老蘇
総人口	81,722	14,898	1,754	6,292	16,055	3,028	3,824	17,775	5,912	9,667	2,517
高齢者数	22,856	4,070	730	1,665	3,669	1,045	1,257	5,141	1,720	2,830	729
高齢化率	28.0%	27.3%	41.6%	26.5%	22.9%	34.5%	32.9%	28.9%	29.1%	29.3%	29.0%
高齢者の いる世帯数	15,763	2,918	508	1,125	2,565	3,496	701	1,141	920	1,897	492
一人暮らし 高齢者数	5,825	1,245	184	403	976	1,249	232	361	428	600	147
一人暮らし率	7.1%	8.4%	10.5%	6.4%	6.1%	7.0%	7.7%	6.1%	11.2%	6.2%	5.8%
高齢者のみ 世帯数	10,561	2,051	324	748	1,731	2,406	456	725	639	1,198	283
高齢者のみ 世帯人員数	15,411	2,870	467	1,103	2,501	3,580	690	1,097	858	1,817	428
高齢者のみ 暮らし率	18.9%	19.3%	26.6%	17.5%	15.6%	20.1%	22.8%	18.6%	22.4%	18.8%	17.0%

※一人暮らし率：総人口に占める一人暮らし高齢者の割合

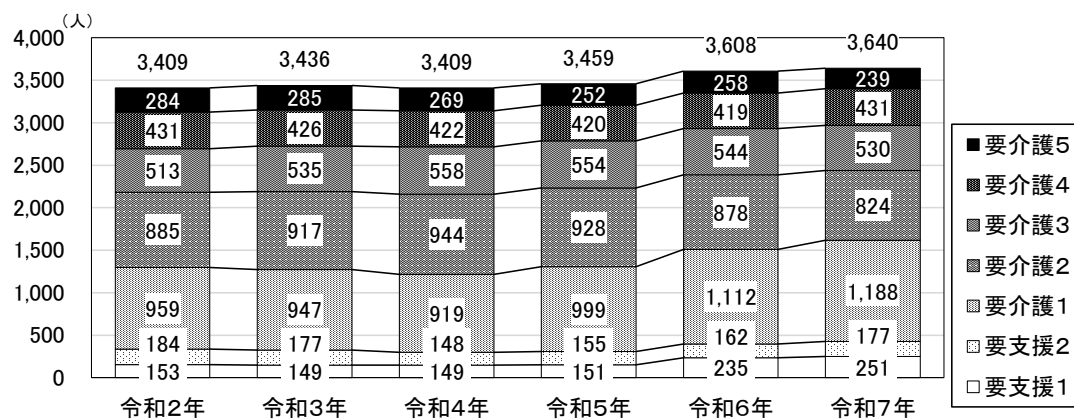
※高齢者のみ暮らし率：総人口に占める高齢者のみ世帯で暮らしている高齢者の割合

資料：住民基本台帳（令和7年10月1日現在）

3) 要介護（要支援）認定者の状況

本市の要介護（要支援）認定者数は、令和7年9月末現在で、3,640人となっており、中でも、要介護2が824人、要介護1が1,188人と多くなっています。

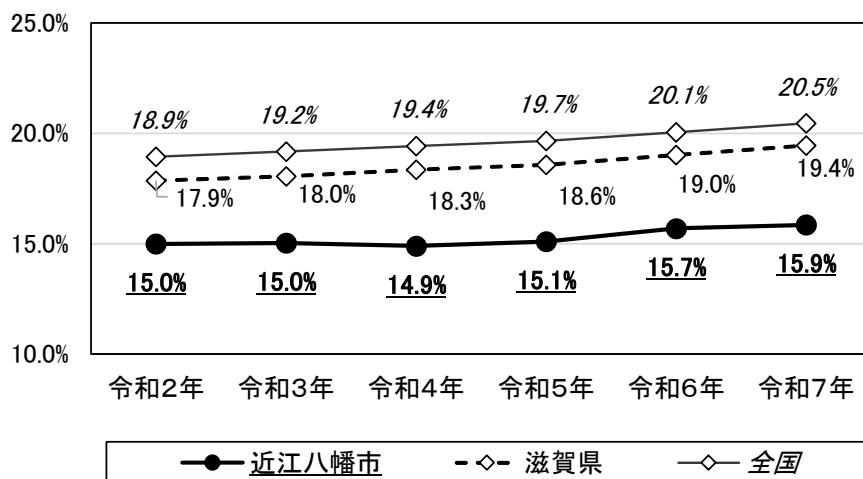
【要介護（要支援）認定者数の推移（2号含む）】



資料：介護保険事業状況報告（各年9月末）

要介護（要支援）認定率は国や県よりも低い値で推移しており、令和7年9月末時点で15.9%となっています。

【要介護（要支援）認定率の推移】

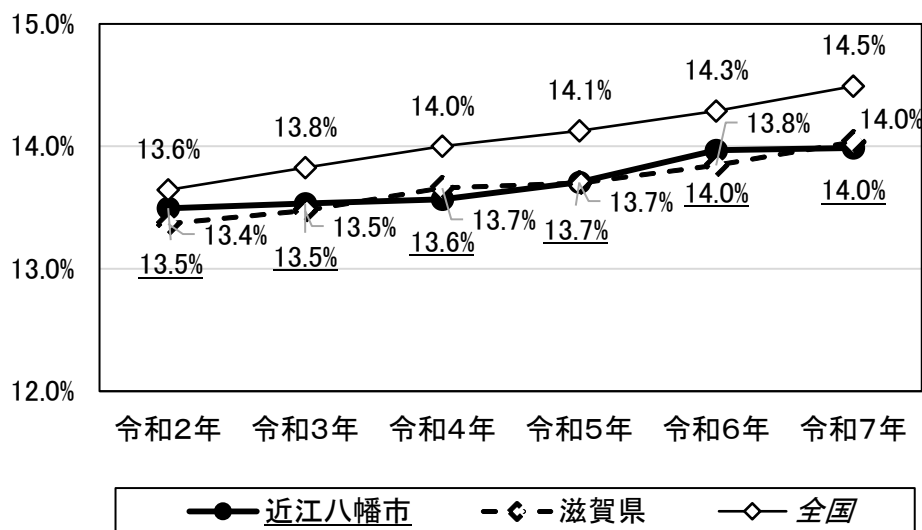


資料：介護保険事業状況報告（各年9月末）

※要介護（要支援）認定率は、要介護（要支援）認定者数（2号含む）を第1号被保険者数で除した値。

要介護認定率（要支援除く）は、県と同程度、全国よりも低い値で推移しており、令和7年9月末時点で14.0%となっています。

【要介護認定率（要支援除く）の推移】

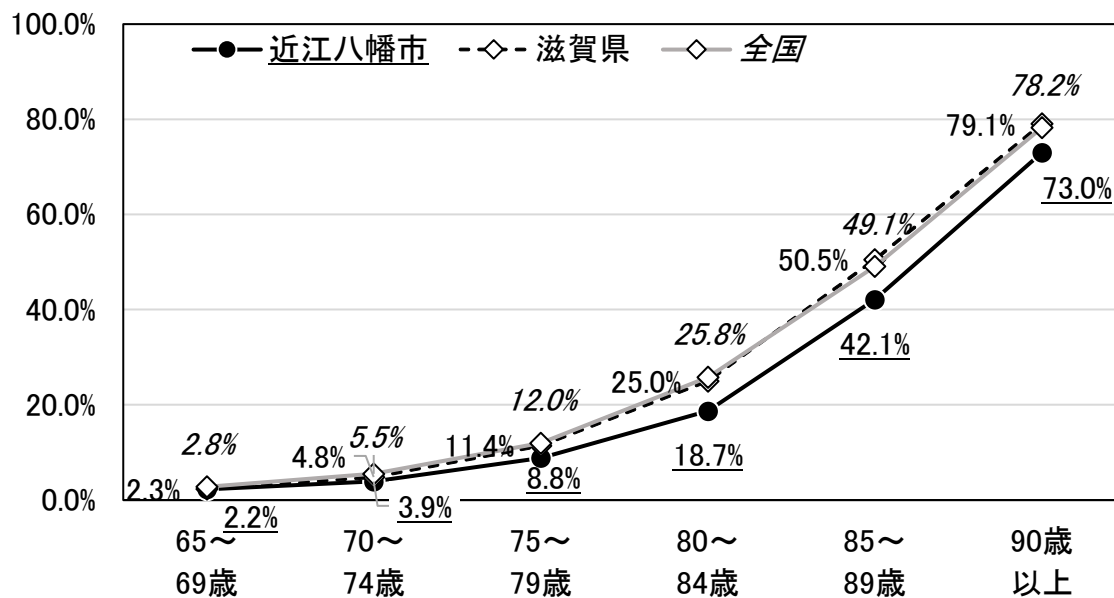


資料：介護保険事業状況報告（各年9月末）

※要介護認定率（要支援除く）は、要支援認定者を除く要介護認定者数（2号含む）を第1号被保険者数で除した値。

令和 7 年 9 月末の年齢構成別での要介護等認定率をみると、65～69 歳は 2.2%、70～74 歳は 3.9%と 5.0%に達していません。しかし、認定率は年齢とともに増加しており、特に、85～89 歳では 42.1%と 4 割強となり、90 歳以上では 73.0%と 7 割を超えています。県・全国と比較すると、全ての年代で滋賀県・全国よりも低くなっています。

【年齢区分別の認定者数】



資料：要介護等認定者数は介護保険事業状況報告（令和 7 年 9 月末）、人口は総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（令和 7 年 1 月 1 日現在）」

学区別の認定者数の推移を見ると、令和 7 年の認定者が令和 3 年よりも減少している学区は、八幡学区、岡山学区、老蘇学区で、それ以外の学区は増加しています。

【学区別認定者数の推移】

	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
八幡	704	690	685	663	673	679
島	124	125	128	120	129	129
岡山	325	311	317	313	309	272
金田	501	511	482	517	525	554
桐原	636	645	635	677	725	742
馬淵	148	162	158	167	171	177
北里	219	229	234	235	252	264
武佐	189	192	190	204	220	204
安土	380	368	383	368	438	447
老蘇	104	113	107	104	64	69
市外	81	92	88	85	100	102

資料：庁内資料（各年 10 月 1 日現在）

新規要介護認定件数は、令和6年度以降、やや減少傾向になっていますが、要支援1は増加傾向にあります。内訳を見ると、要支援1と要介護1の割合が多くなっています。

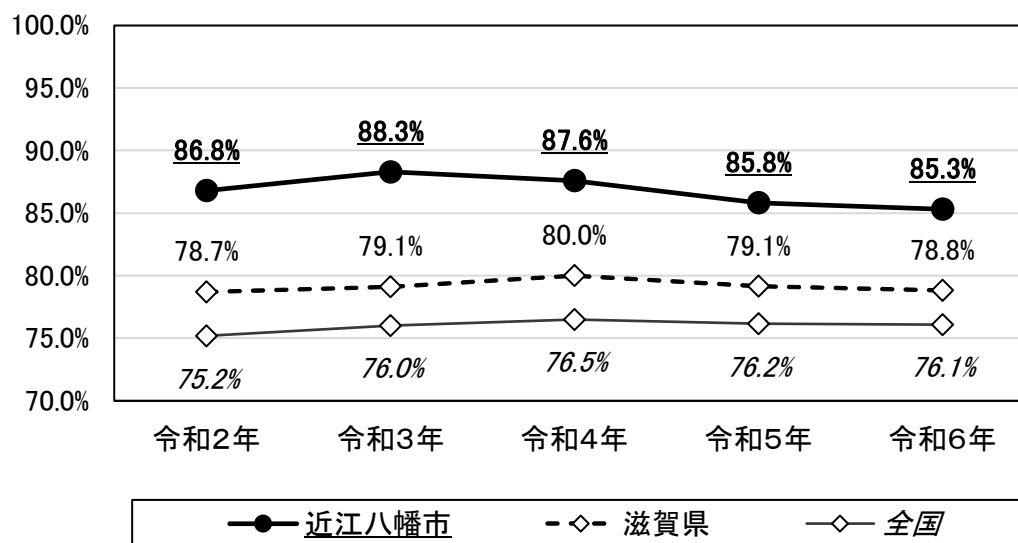
【新規認定件数と認定内訳の推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
要支援1	65	77	67	100	143	152
要支援2	70	70	51	78	60	75
要介護1	267	311	342	398	413	359
要介護2	144	153	165	163	127	131
要介護3	58	68	93	49	63	56
要介護4	54	62	64	70	61	49
要介護5	35	26	25	31	32	27
合計	693	767	807	889	899	849

資料：庁内資料（各年度を通して新規申請をされた人の合計）

介護サービス利用率は、国や県よりも高い値で推移しており、令和6年は85.3%となっています。

【介護サービス利用率の推移】

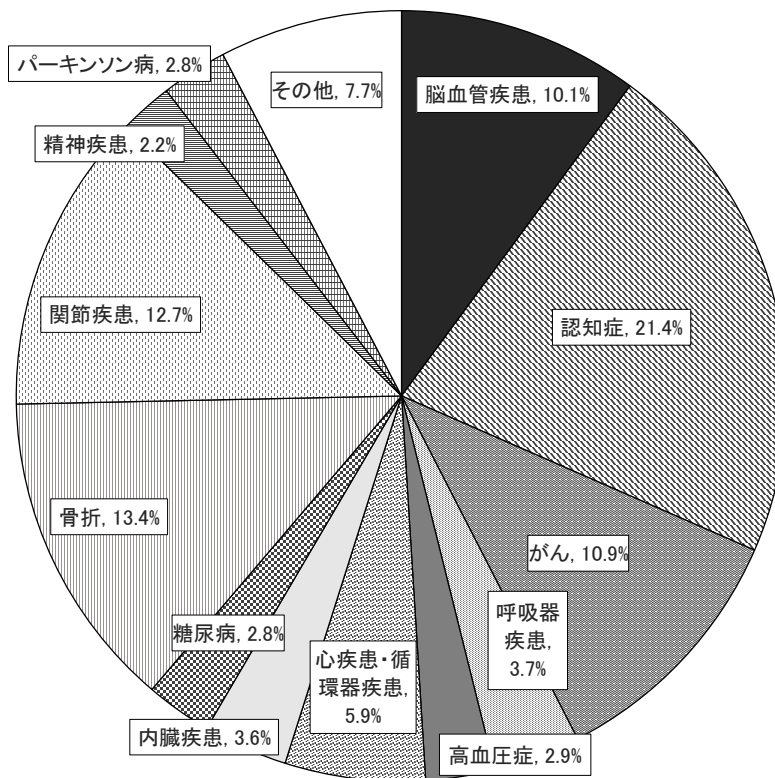


資料：地域包括ケア「見える化」システム

4) 新規要介護申請者の原因疾患の状況

新規要介護申請の原因疾患としては、認知症が 21.4%で最も多く、続いて、骨折が 13.4%、関節疾患が 12.7%で続いています。男性・74 歳以下では、脳血管疾患とがん、女性・74 歳以下ではがんが最も多くなっています。75 歳以上では男性、女性ともに認知症が最も多くなっています。

【新規要介護申請者の原因疾患（令和 6 年度）】



【新規要介護申請者の原因疾患（令和 6 年度：性・年齢別）】

	男性								女性							
	全体		年齢別						全体		年齢別					
			74歳以下		75～84歳		85歳以上				74歳以下		75～84歳		85歳以上	
	n	%	n	%	n	%	N	%	n	%	n	%	n	%	n	%
脳血管疾患	60	13.5%	14	23.0%	27	14.9%	19	9.4%	31	6.8%	6	10.9%	9	5.6%	16	6.7%
認知症	77	17.3%	3	4.9%	32	17.7%	42	20.7%	116	25.5%	7	12.7%	47	29.4%	62	25.8%
がん	64	14.4%	14	23.0%	28	15.5%	22	10.8%	34	7.5%	12	21.8%	8	5.0%	14	5.8%
呼吸器疾患	27	6.1%	2	3.3%	11	6.1%	14	6.9%	6	1.3%	0	0.0%	3	1.9%	3	1.3%
高血圧症	11	2.5%	2	3.3%	2	1.1%	7	3.4%	15	3.3%	0	0.0%	5	3.1%	10	4.2%
心疾患・循環器疾患	25	5.6%	2	3.3%	2	1.1%	21	10.3%	28	6.2%	0	0.0%	7	4.4%	21	8.8%
内臓疾患	22	4.9%	3	4.9%	9	5.0%	10	4.9%	10	2.2%	0	0.0%	4	2.5%	6	2.5%
糖尿病	12	2.7%	3	4.9%	4	2.2%	5	2.5%	13	2.9%	2	3.6%	5	3.1%	6	2.5%
骨折	36	8.1%	0	0.0%	16	8.8%	20	9.9%	85	18.7%	10	18.2%	30	18.8%	45	18.8%
関節疾患	48	10.8%	10	16.4%	22	12.2%	16	7.9%	66	14.5%	6	10.9%	23	14.4%	37	15.4%
精神疾患	10	2.2%	1	1.6%	8	4.4%	1	0.5%	10	2.2%	1	1.8%	5	3.1%	4	1.7%
パーキンソン病	15	3.4%	2	3.3%	11	6.1%	2	1.0%	10	2.2%	4	7.3%	4	2.5%	2	0.8%
その他	38	8.5%	5	8.2%	9	5.0%	24	11.8%	31	6.8%	7	12.7%	10	6.3%	14	5.8%
合計	445		61		181		203		455		55		160		240	

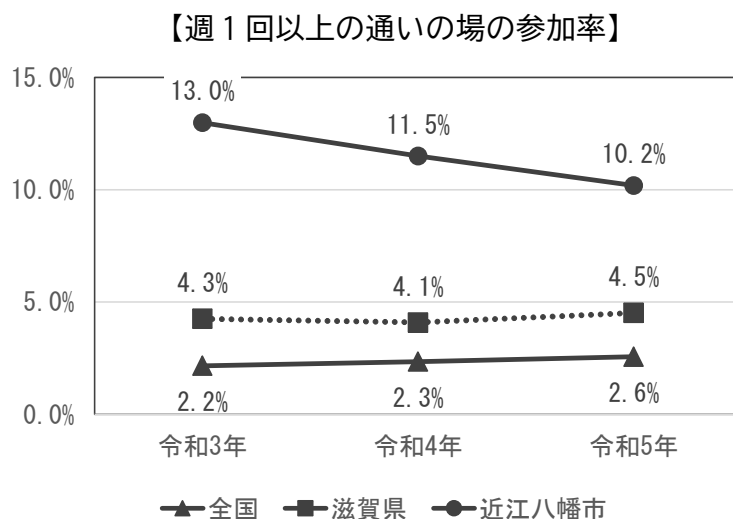
資料：庁内資料

5) 介護予防の状況

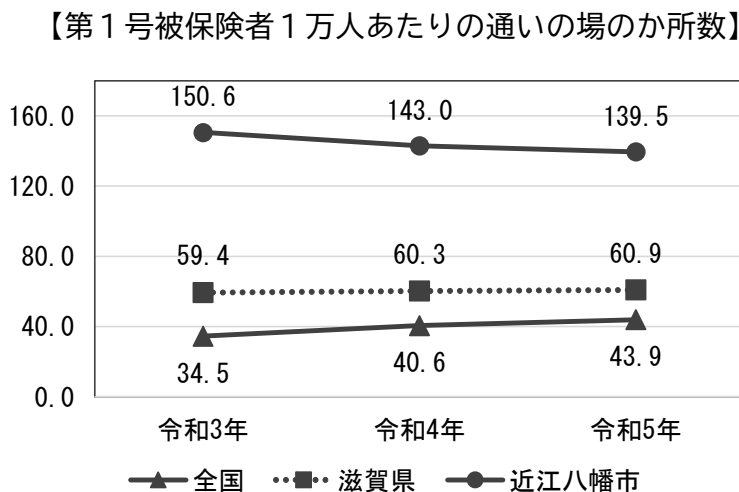
週1回以上の通いの場の参加率は、国や県よりも高い値で推移していますが、減少傾向にあり、令和5年は10.2%となっています。

第1号被保険者1万人あたりの通いの場のか所数は、国や県よりも高い値で推移していますが、減少傾向にあり、令和5年は139.5か所となっています。

第1号被保険者に占める介護予防・生活支援サービス事業対象者の割合は、国と同等かつ県よりも高い値で推移しており、令和5年は0.8%となっています。



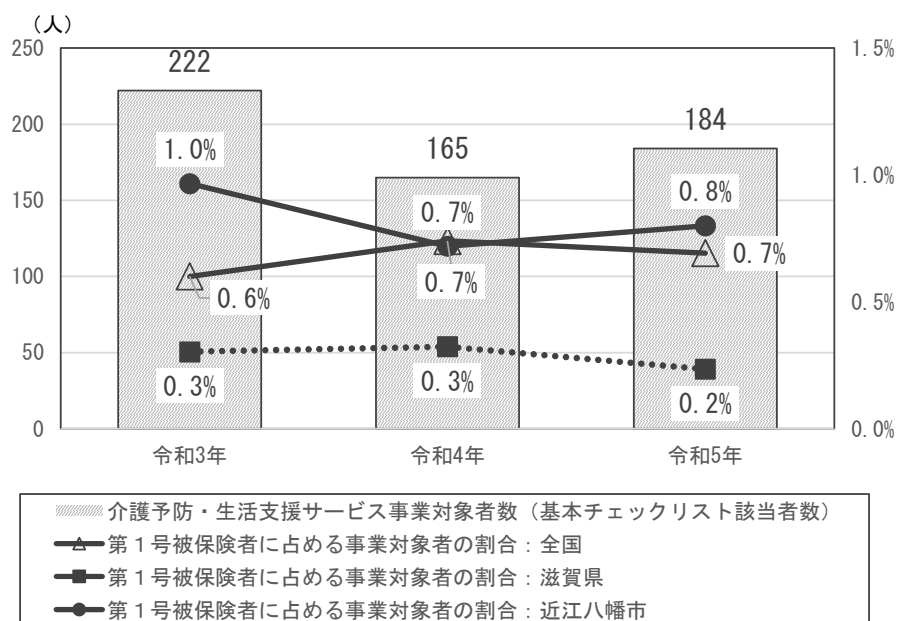
資料：厚生労働省「介護予防・日常生活支援総合事業等（地域支援事業）の実施状況に関する調査結果」（一部修正）、第1号被保険者数は、介護保険事業状況報告（各年9月末）



※「通いの場」は「週1回以上」「月2回以上」「月1回以上」「把握していない」の合計の個所数を第1号被保険者数で除している。

資料：厚生労働省「介護予防・日常生活支援総合事業等（地域支援事業）の実施状況に関する調査結果」（一部修正）、第1号被保険者数は、介護保険事業状況報告（各年9月末）

【介護予防・生活支援サービス事業対象者数（基本チェックリスト該当者数）と
第1号被保険者に占める事業対象者の割合】

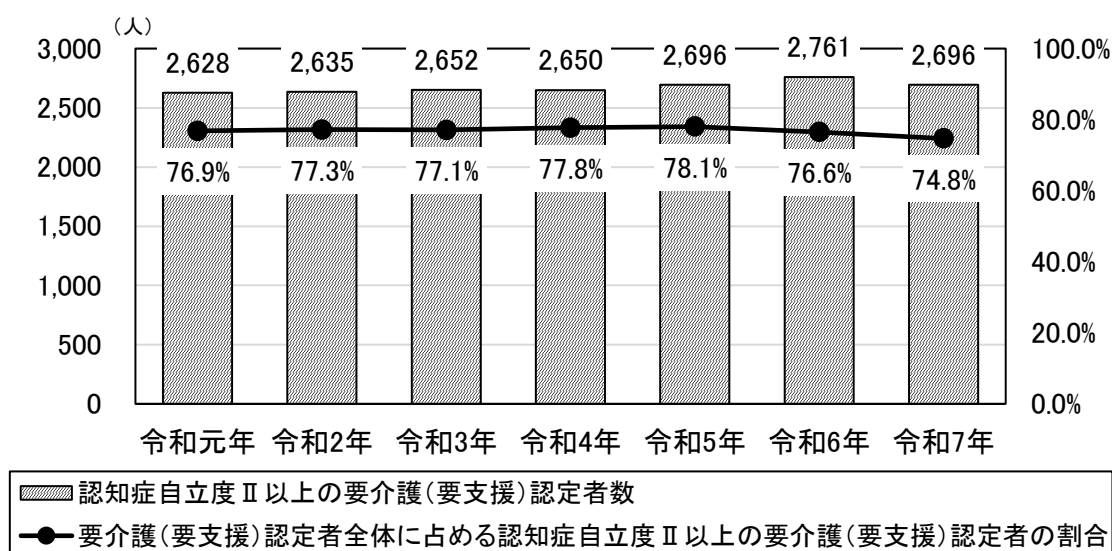


資料：厚生労働省「介護予防・日常生活支援総合事業等（地域支援事業）の実施状況に関する調査結果」、第1号被保険者数は、介護保険事業状況報告（各年9月末）

6) 認知症の状況

認知症自立度Ⅱ以上の要介護認定者数は、おおむね増加傾向で推移し、令和7年は2,696人となっています。また、要介護認定者全体に占める認知症自立度Ⅱ以上の要介護認定者の割合はやや減少しており、74.8%となっています。

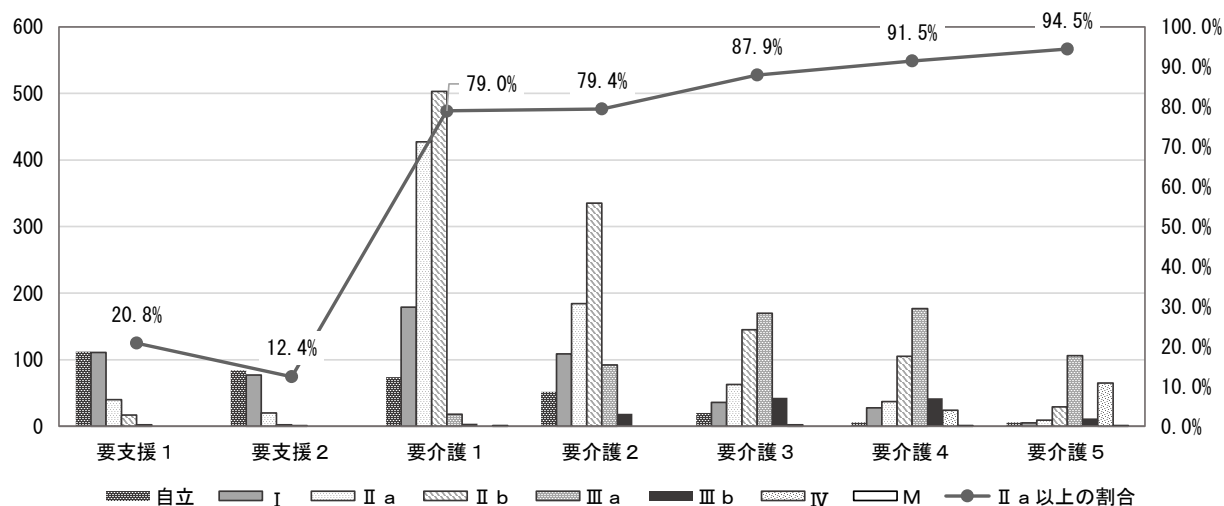
【認知症自立度Ⅱ以上の要介護認定者数】



資料：庁内資料

※認知症自立度Ⅱ以上の高齢者数は、主治医意見書で認知症自立度Ⅱ以上または介護認定調査員の訪問時で認知症自立度Ⅱ以上を抽出

【要介護度別認知症自立度】



資料：庁内資料（令和8年3月末日現在）

※認知症自立度Ⅱ以上の高齢者数は、主治医意見書で認知症自立度Ⅱ以上又は介護認定調査員の訪問時で認知症自立度Ⅱ以上を抽出